

令和8年（2026年）度施策評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価者	文化観光部長 高橋 謙司
-----	--------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-①観光振興の推進
目標とするまちの姿	多様なプログラムと効果的な情報の提供により、訪れた観光客が、鎌倉の歴史や伝統などを十分に満喫できる、魅力あふれる都市になっています。 また、観光客と市民との情報共有や交流が進み、地域全体で観光振興に取り組み、地域の活性化が図られています。		
主な取組	(1)ホスピタリティの向上と観光客のモラル向上 市民・事業者のホスピタリティの向上や、ボランティアガイドの育成等とともに、観光客のモラル向上を図り、市民と観光客がともに快適に過ごせる環境づくりを推進します。 (2)観光振興による地域の活性化 観光消費や交流人口の拡大を通じた地域の活性化を図るため、インバウンドへの対応や、新たな観光資源を発掘し、歴史的遺産や自然環境とともに積極的に活用します。また、有効かつ魅力的な情報の発信等を通じた、観光需要の平準化や滞在時間の長時間化に向けた取組を推進するとともに、観光資源を生かした収入確保策や受益者負担の仕組みづくりを進めます。 (3)多様な取組主体の参画と連携 観光事業者や観光団体、生産者、市民団体などのネットワークを拡げ、主体間の連携を強化し、地域全体で観光振興を推進します。		

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

歴史的遺産や自然環境を活用し、有効かつ魅力的な情報の発信等を行うことで、滞在時間の延長、観光消費額の拡大、地域活性化を図る。また、鎌倉市観光協会が行っている鎌倉観光公式ガイド(観光ホームページ)をリニューアルすることで、観光客が欲しい情報を、見やすく、取得しやすいサイトとするほか、マナー啓発や分散観光・宿泊型観光の強化につなげるとともに、更なる多言語化やリアルタイム情報の多言語発信を行うことで、国内外からの観光客に対する利便性を高める。

観光協会に対しては、「鎌倉まつり」、「鎌倉花火大会」、「鎌倉薪能」などの公益事業の支援を通して、本市の観光振興を推進する。

地域の課題であるオーバーツーリズムについては、関係自治体、関係機関、関係団体と連携協議しながら対策を講じ、「住んでよかったまち、訪れてよかったまち」を目指す。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	47,206	285,294	378,128	56,086	131,461	127,744
人件費	35,502	65,896	59,672	31,508	38,942	38,933
総事業費	82,708	351,190	437,800	87,594	170,403	166,677

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	文観-15	観光運営事業		15,369	16,290	31,659	現状維持	A	現状維持
重	文観-16	観光振興事業		35,747	17,673	53,420	現状維持	A	現状維持
	文観-17	観光振興支援事業		24,747	4,142	28,889	現状維持	A	現状維持
	文観-18	観光協会支援事業		51,881	828	52,709	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

- ・令和8年度から10年間の本市の観光施策を示す「第4期鎌倉市観光基本計画」を策定した。
- ・持続可能な観光に向けた観光財源の確保を目指し、有識者等による「宿泊税等観光財源に関する検討委員会」を設立した。
- ・観光客の利便性を向上させる観光案内図、外国語版パンフレットなどを作成するとともに、市内の団体が実施するイベントの支援を行うなど地域が活性化するような取組を行った。
- ・「鎌倉まつり」、「鎌倉花火大会」、「鎌倉薪能」などの公益事業の実施を通して、本市の観光振興を推進している鎌倉市観光協会の支援を行った。
- ・鎌倉観光公式ガイド(観光ホームページ)のリニューアルの実施、韓国語サイトやリアルタイム情報発信機能の追加を行い、観光情報の充実を図るとともに、スマートフォン等からの操作性を高めることで、観光客の利便性を高めた。
- ・鎌倉高校前駅周辺では、腰越ラッコ公園に撮影スポットを設置し、誘導員を配置した他、AIカメラや看板を設置することで整序化を図った。

※実施できなかった事業とその理由

鎌倉花火大会は海上の高波と強風による影響で打ち上げ台船の安全な航行が不可能と判断され、中止となった。

5. 成果指標

成果指標①		一人当たり観光消費額(宿泊客)						出典	鎌倉市の観光事情	
初期値	令和元年 8月21日	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	23,683	目標値	24,500	25,000	25,500	26,000	26,500	27,000	円	実績値については、9月末に数値が確定する予定です。
		実績値	20,815	20,950	24,678	31,409	30,865	未定		
		達成率	85.0%	83.8%	96.8%	120.8%	116.5%	未定	%	

成果指標②		一人当たり観光消費額(日帰り客)						出典	鎌倉市の観光事情	
初期値	令和元年 8月21日	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	6,243	目標値	6,500	6,750	7,000	7,250	7,500	7,750	円	実績値については、9月末に数値が確定する予定です。
		実績値	5,116	6,428	7,267	7,773	7,638	未定		
		達成率	78.7%	95.2%	103.8%	107.2%	101.8%	未定	%	

成果指標③		観光客の平均滞在時間数						出典	鎌倉市の観光事情	
初期値	令和元年 8月21日	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	4.9	目標値	5.0	5.1	5.2	5.3	5.4	5.5	時間	実績値については、9月末に数値が確定する予定です。
		実績値	4.3	4.8	4.9	4.8	4.2	未定		
		達成率	86.0%	94.1%	94.2%	90.6%	77.8%	未定	%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

「第4期鎌倉市観光基本計画」の策定、観光案内図、外国語版パンフレット等の作成、鎌倉市観光協会や市内団体が実施するイベントの支援、観光に関するHPのリニューアル等の取組を通じて、観光客のホスピタリティや利便性の向上を図った。また、多様な取組主体との連携を図ることで、一人当たり観光消費額や観光客の平均滞在時間数の向上に努めた。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

観光案内図や外国語版パンフレット等の作成、観光に関するHPのリニューアル等によって観光客のホスピタリティや利便性の向上に加え、多様なプログラムと情報を提供することにより、訪れた観光客が、鎌倉の歴史や伝統などを満喫し、魅力あふれる都市として実感できる取り組みができた。

また、「鎌倉まつり」、「鎌倉花火大会」、「鎌倉薪能」等を実施している鎌倉市観光協会や市民団体を支援することで、観光客と市民との交流を図るとともに、地域全体を活用した観光振興に取り組み、地域活性化に資することができたと捉えている。

8. 今後の方向性

鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策	3-11 観光
鎌倉の持つ様々な魅力や価値が世界に誇る貴重な財産であることを認識しながら、訪れた観光客が鎌倉の歴史や伝統等を十分に満喫できるよう、観光案内図やパンフレット、ホームページ等で効果的な情報提供を行い、観光客のホスピタリティや利便性の向上を図っていく。今後も市内の観光ニーズや課題に対応しながら、誰もが「住んでよかった・訪れてよかった」と思える成熟した観光都市を目指していく。	
また、鎌倉市観光協会等の観光に関わるあらゆる主体と連携・協力をしながら、「第4期鎌倉市観光基本計画」に定める事業を着実に推進し、持続可能な観光の仕組みを構築していく。	